

ひまわり通信



日本共産党
市川市議員 **ひろた徳子**



2019. 10. 6 NO.53

9月定例議会

公立保育園民営化などについて質問

私は、災害等含め6項目について質問しました。

***公立保育園の民営化について**

質問 民営化する際の法人選定にあたって、園運営費に占める人件費の基準はどのように定めるのか。また、保育士の労働条件についても報告書を提出させるなどで引き継ぎ後も評価していくのか。

答弁 具体的には、法人の運営費収入額に占める保育士等への給与支払額の割合



(人件費比率)が70%を超えることを評価する基準や、その他、労働条件に関する昇給等の給与規程、職員研修の実施状況、休暇・時間外勤務等の取り組みについても選定基準を設定し、評価していく。

質問

1、2歳児の職員配置は、公立保育園は園児5人に対し職員1人だが、民間は6対1。引き継ぎ後はどうするか。

答弁 現状の公立保育園の職員配置を維持し、1、2歳児については、国の基準を上回る5対1の職員配置とする。

***市民マナー条例**

質問 マナー条例の中に歩きスマホの禁止も入れる考えはあるか。

答弁 自転車走行

中のスマホ使用については、既に「市川市自転車の安全利用に関する条例」で遵守事項として禁止しているが、歩きスマホについては、近隣市町村に調査したところ、条例で規制をしているところはない。今後、社会情勢を見ながら研究していく。

まとめ 危険な行為だと市が判断すれば、近隣市の様子を見るのではなく、本市の考え方で追加してもいいのではないか。歩きスマホは、周りの人に迷惑をかけるだけでなく、自身も事故にあう可能性が非常に高い。前向きに検討してほしい。



千葉県母親大会in市川

10月27日(日)10時~16時

市川市文化会館 大ホール

記念講演『食べることは生きること』

(午後) 枝元ほなみさん

協力会員券 1,000円

母親・女性の願い
実現を求めて母親運動60年。
学生・労働者・主婦・農民・中小業者・教師・研究者など、あらゆる分野、同じ立場で運動に関わってきました。

午前のシンポジウムは「子どもたちにいのちと人権を守る千葉県を」がテーマ。どなたでもご参加いただけます。

市政アンケートに寄せられた

ご意見を市へ要望します

6月から取り組んできた市政アンケート。多くの方から寄せられた声をもとに現地調査し、要望書を作成しました。10月16日提出します。写真は塩焼3丁目オリンピック前の歩道です。

雑草が茂り、歩道が狭く、また、凹凸がひどいため雨の日は水たまりができてしまいます。改善にむけて要望します。



あの日の オルガン

戸田恵梨香 大原櫻子
佐久間由衣 三浦透子 坂田真由 福地純子 白石糸 奥村佳那
藤原利久 山中崇 田畑智子 藤月麻 松金よね子
林家正蔵 夏川結衣 田中道樹 橋爪功

チラシとチケットができました！

「2度と戦争をしてはいけない、子どもたちにこんな思いをさせてはいけない。」そんな気持ちにさせてくれる映画です。

11月22日(金) 4回上映します
①10:00 ②12:45 ③15:30
④18:30 八幡市民会館



9月1日、都内で開かれた「ごちやまぜ社会でつくる未来」のフォーラムに参加しました。高齢者が入院すると流動食や点滴で栄養を取らざるを得ない場合があります。しかし、本来は最後まで口から食べることで、食へ

子どもから高齢者まで ごちやまぜの共生社会

の興味が湧き、噛むことで脳が働きます。現在は子ども、障がい者、高齢者と縦割りの施設が多い中、ごちやまぜにして共生社会を実現している方の講演を聞きました。会場ではVRによる認知症の疑似体験もしました。

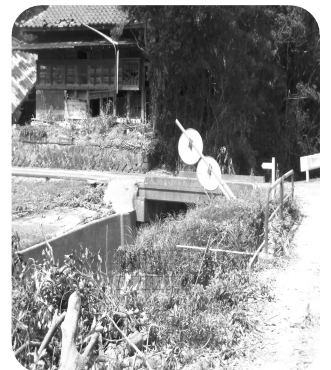
台風15号、千葉県を襲う



9月9日未明に千葉県を襲った台風15号は、広い範囲で被害を受け、電気が通るまでに2週間以上かかったところもあります。今なお、修繕されな根も多くなっています。

9月14・15日と南房総市の富浦と鋸南町を訪ねました。富浦に住む友人の家は、屋根が3分の1飛ばされ、壁も一部がなくなり、爆発したのかと思うほどの音がし、家の中は雨と飛び散ったガラスで、台風が過ぎ去るまで何もできなかったそうです。上の写真は1

4日に近くの広場に運び込まれたがれきです。この場所も2・3日ですっきりになったと聞きました。鋸南町の友人の家は無事でしたが、周りの家は被害が大きく、右の写真のようにあちこちで標識が斜めになっていました。下の写真は、市川市



内のなし園の状況です。出荷真近の大きななしは、無残にも落ち、落ちていなくても枝や葉で傷つき、売り物にはならないとのこと。被害状況の把握と対応を急がなければなりません。

ひとりごと：台風15号で被害にあわれた方にお見舞い申し上げます。1日も早く普段の生活に戻れますように。4年前の10月、私は沖縄県宮古島を訪ねました。観光地である宮古島に、自衛隊の基地の計画があり、民意を無視し、牧場・農場・ゴルフ場など次々に基地や練習場、宿舎に変えようとしている場所を、現地共産党の市議の方に案内してもらいました。そこが、今、急速に変わろうとしていると聞き、どうしてもこの目で確認したくなりました。あのきれいな海、自然豊かなのどかな島を守りたい。10月は、防災訓練や自治会の運動会、母親大会、常任委員会の視察など盛りだくさんです。

